T-0207140

組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

ポーチオーバーロール　共 通

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

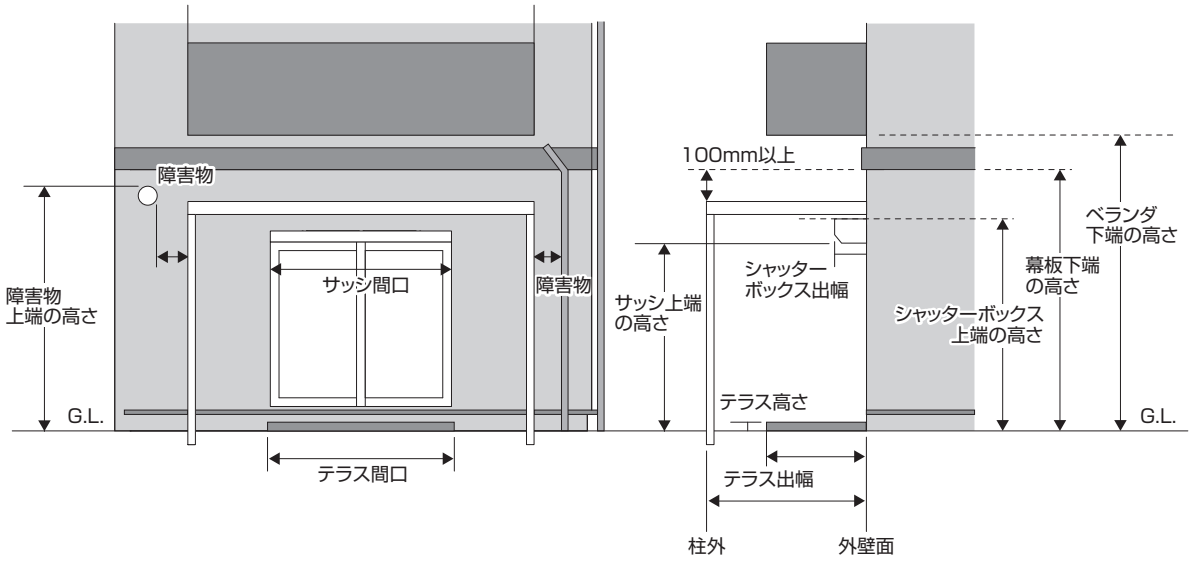
安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

安全記号	
⚠ 警 告	●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。
⚠ 注 意	●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。
一般記号	
ポイント	●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。 ●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。

現場調査時のご注意

⚠ 注 意



●商品ごとに必要な寸法は異なります。上の図を基に採寸してください。
●建物の雨樋が障害となる場合は、現地対応が必要となります。
●敷地境界を越えないようにご注意ください。
●建物側の梁上下に100mm以上のすき間を開けてください。

その他確認事項

○障害物（ブロック塀、樹木、雨樋、エアコン等）や撤去物はないですか?
○取り付けの際に電気、水道が使用できますか?

組立・施工上のご注意

注 意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。
高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、
正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●大型商品は、安全に組み立てるため、施工は2人以上で行ってください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず取扱説明書をお読みください。
●必ず取扱説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、
商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には
設置しないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。
熱の影響のない場所に設置してください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●風の強い場所では、商品の周囲に十分な空間を確保してください。
周囲を囲うと商品に予想以上の風圧がかかり、破損、倒壊の可能性があります。
●常に水や温水に触れたり水没する場所、また温泉やそれに類する水質に触れたり水没したりする場所には
設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃を与えますと
破損事故の原因になりますので、絶対しないでください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。
特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
●施工後の残材は他の一般廃棄物と区別し、素材別に分けた上で専門業者に処理を委託してください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●積雪のある地域では、雪により商品が倒壊しても危険がない場所に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、
取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

メンテナンスのご注意

◆汚れの程度と掃除方法

内　容	用　具	方　法
軽い汚れの場合	柔らかい布、スポンジ、水	柔らかい布、スポンジで水ぶきした後、からぶきしてください。
ひどい汚れの場合	柔らかい布、中性洗剤	中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてください。その後、からぶきしてください。

◆お手入れのご注意

●お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。
●金属ブラシ、金ベラ、スチールウール、目のあらい紙ヤスリなどは使用しないでください。
●小石、砂などが付着したままこすると、アルミ表面にキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
●アルコール、ベンジン、アセトンなどの有機溶剤や石油類などは使用しないでください。
●小さなキズでも早めに補修されることをおすすめします。水に濡れたときはからぶきしてください。
●安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
●工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●定期的なお手入れにより、アルミ製品をいつまでも美しく保つことができます。

●お手入れ回数の目安

海岸地帯	工業地帯
年1～4回	**年1～3回**

市街地	田園地帯
年0.5～2回	**年0.5～1回**

施工に必要な工具・資材

●電動ドリル、キリ
●充電式ドライバー、電動ドライバー、プラスドライバー、六角レンチ、電動ドライバー用ドリル刃（鉄、アルミ用）φ10 φ6
●巻き尺、水平器、下げ振り、カッター、ペンチ、ゴムハンマー
●その他必要に応じて工具、資材を用意してください。

廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、各地域の条例等に従って正しく処分してください。

部品の確認

※商品は購入時に選択したものが入っています。

◆ポーチオーバーロール明細

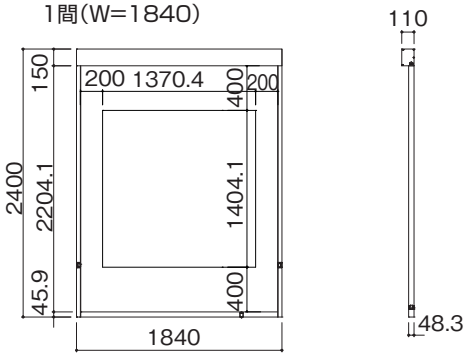
	間口用			出幅用		
	1間 1840×2400	1.5間 2700×2400	2間 3640×2400	6尺 1715×2400	9尺 2615×2400	12尺 3515×2400
本　体	1	1	1	1	1	1
ガイドレール	1	1	1	1	1	1
ガイドレール固定用ビス 4×16	20(2)	20(2)	20(2)	20(2)	20(2)	20(2)
縦樋カバー 付属ビス：4×13（18本）	―	―	―	1	1	1

（　）は予備

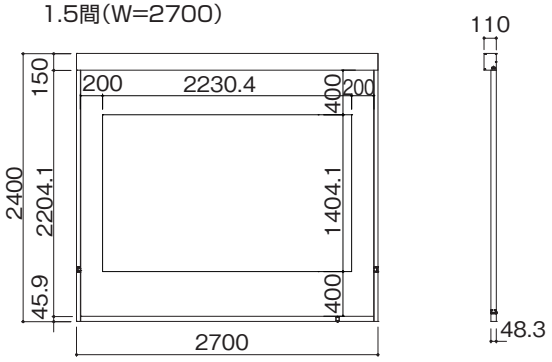
基本寸法図

◆ポーチオーバーロール 間口用

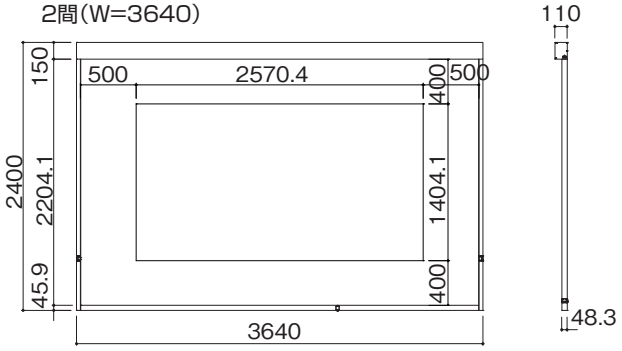
1間(W=1840)



1.5間(W=2700)

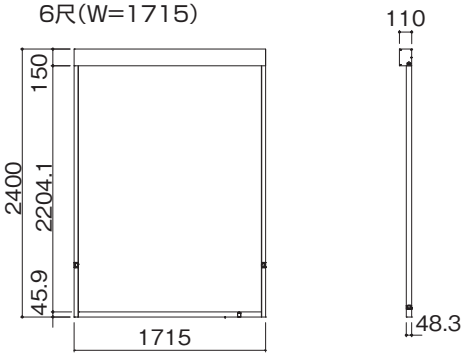


2間(W=3640)

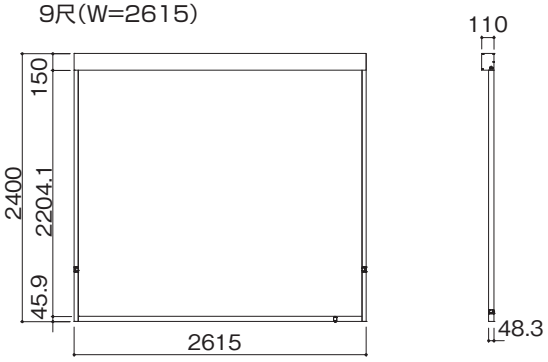


◆ポーチオーバーロール 出幅用

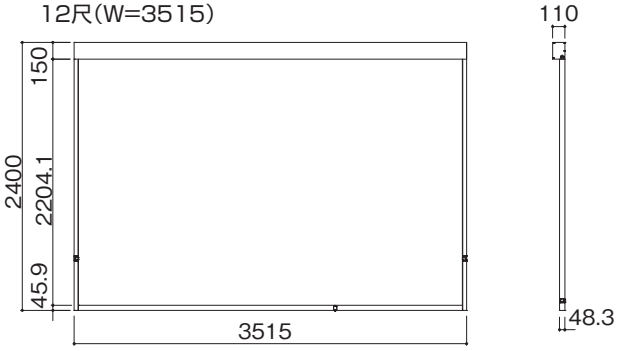
6尺(W=1715)



9尺(W=2615)



12尺(W=3515)



施工手順

下準備

❶ ガイドレールを分解する P.6へ

↓

❷ ガードレールにビス固定用の穴(φ6)を6カ所あける P.6へ

↓

❸ 本体ケースカバープレートを外す P.6へ

↓

❹ 本体ケースから生地ロールを取り出す P.7へ

↓

❺ 本体ケースにビス固定用の穴(φ6)をあける P.7へ

↓

❻ 本体ケース側面にモーターコードを通す穴(φ10)をあける P.7へ

取付・施工

❶ 本体ケースを設置場所へ付属のドリルビス4×16で固定する P.8へ

↓

❷ ガイドレールを設置場所へ付属のドリルビス4×16で固定する P.8へ

↓

❸ モーターコードを穴(φ10)へ通しながら本体ケースへ戻す P.9へ

↓

❹ ガイドレール中間材を❷で固定したレールへ固定する P.9へ

↓

❺ ガイドレールに樹脂生地ガイドを取り付け、生地を通す P.10へ

↓

❻ コードの結線を行う P.10へ

100V仕様です。電気工事免許を有する方が施工してください

↓

❼ 生地の上下がスムーズに行えるか確認する P.10へ

↓

❽ モーターの上下ストッパー箇所を決める P.11へ

↓

❾ ガイドレールカバー、カバープレートを取り付ける P.11へ

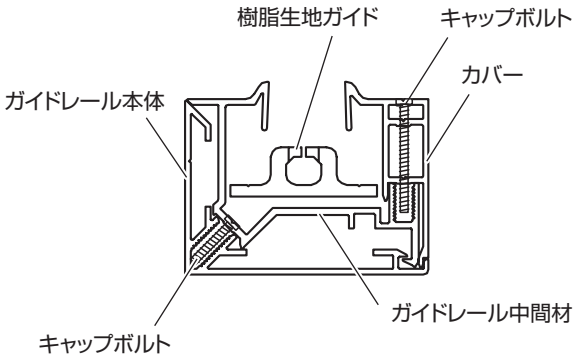
分解時のビスで固定します

下準備

❶ ガイドレールを分解する

ガイドレールは4つの部材からなっており、キャップボルト12本で固定されています。このキャップボルトを外し、**ガイドレール**を分解します。【図Ⓐ】

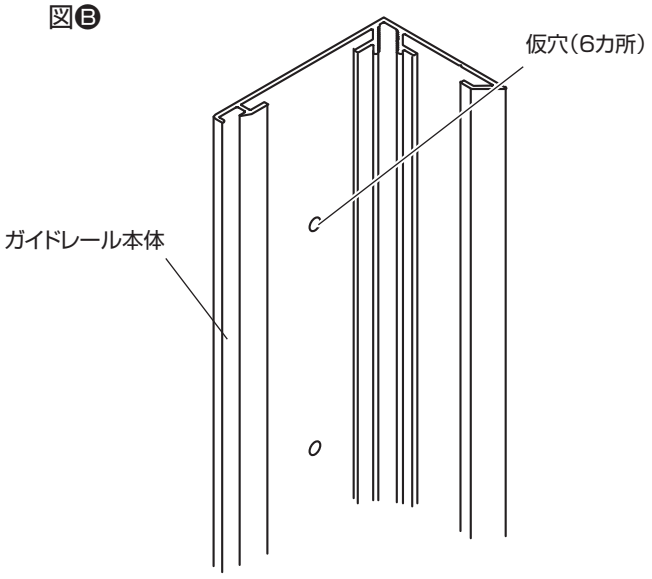
図Ⓐ



❷ ガイドレール本体への仮穴加工

ガイドレール本体にビス固定用の仮穴(φ6mm)を6カ所あけます。【図Ⓑ】

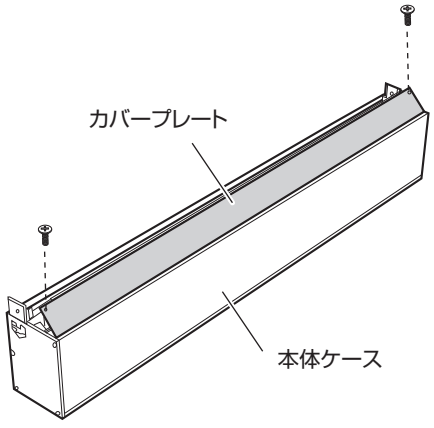
図Ⓑ



❸ 本体ケースからカバープレートを外す

カバープレートを本体から外します(左右1本ずつ)。【図Ⓒ】

図Ⓒ



下準備

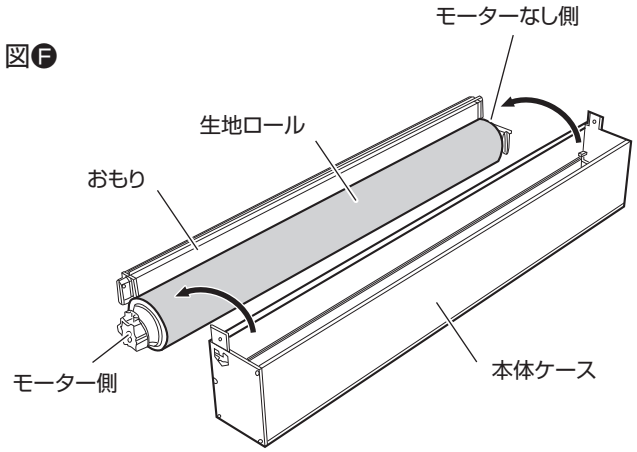
❹ 本体ケースから生地ロールを取り出す

①**ガイド部品**を本体ケースから外します。【図Ⓓ】
②**ロール固定部品**を本体ケースから外します。【図Ⓔ】
③**ロール生地**を本体ケースから取り出します。【図Ⓕ】

⚠ ご注意

○生地の先端(地面側)にはおもりが挿入されています。非常に重くなっていますので、生地ロールを取り出す際など、取り扱いには十分ご注意ください。
○生地ロールの両端はモーター側とモーターのない側で異なった受材になっています。
○生地ロールは本体ケースを設置場所への固定後、本体ケース内に戻しますので、部品をなくさないようにしてください。

図Ⓕ



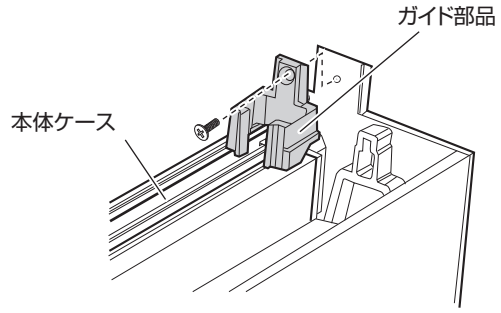
❺ 本体ケースにビス固定用の穴をあける

生地はケース出幅方向の1方向端側へ降りる構造となっています。どちら側を外側へ持ってきても構いません。固定用ビスの仮穴をあける際に、設置場所との関係を加味して出幅方向の調整をしてください。各サイズ6カ所固定です。【図Ⓖ】

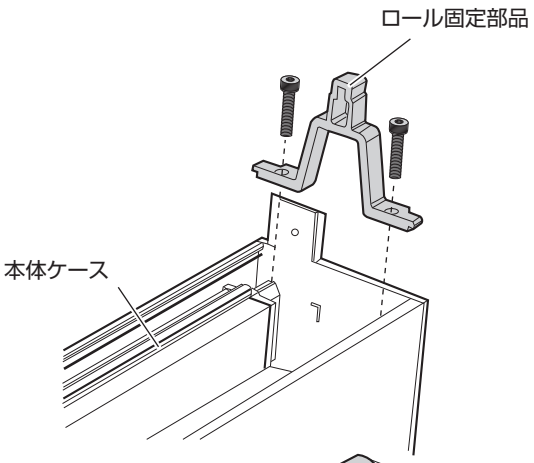
❻ モーターコードを通す穴をあける

通常モーターからのコードはケース上部(空側)から出ています。側面からコードを出す場合には右図のような位置にφ10の穴をあけてください。上下方向は下端から50mm、出幅方向の中央部(55mm)に穴をあけてください。【図Ⓗ】

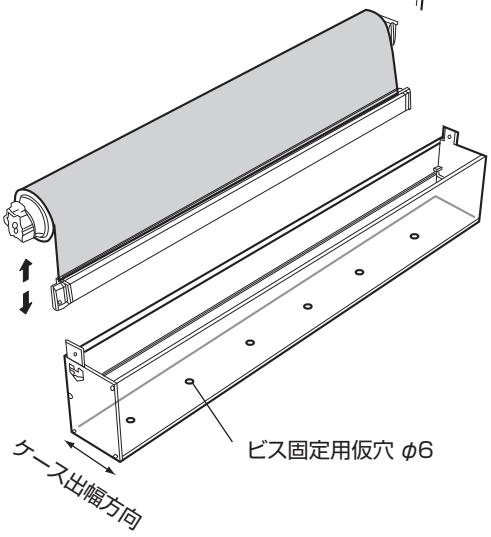
図Ⓓ



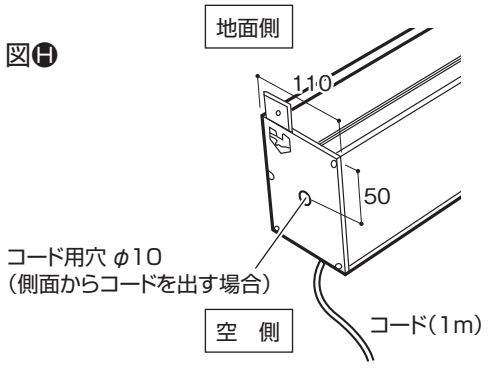
図Ⓔ



図Ⓖ



図Ⓗ

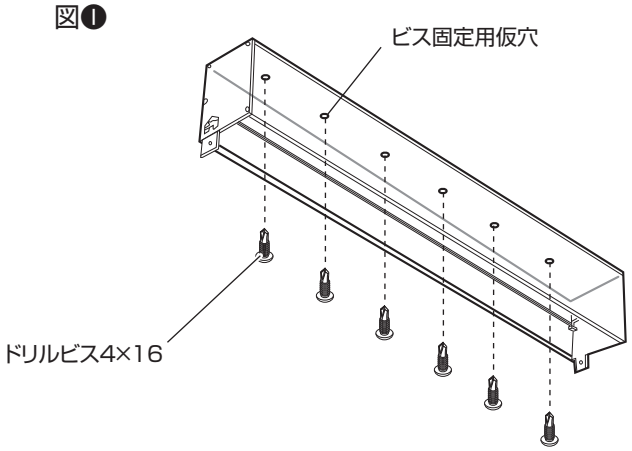


取付・施工

❶ 本体ケースを設置場所へ取り付ける

下準備であけた穴を利用して、設置場所へ**ドリルビス4×16**で固定します。【図❶】

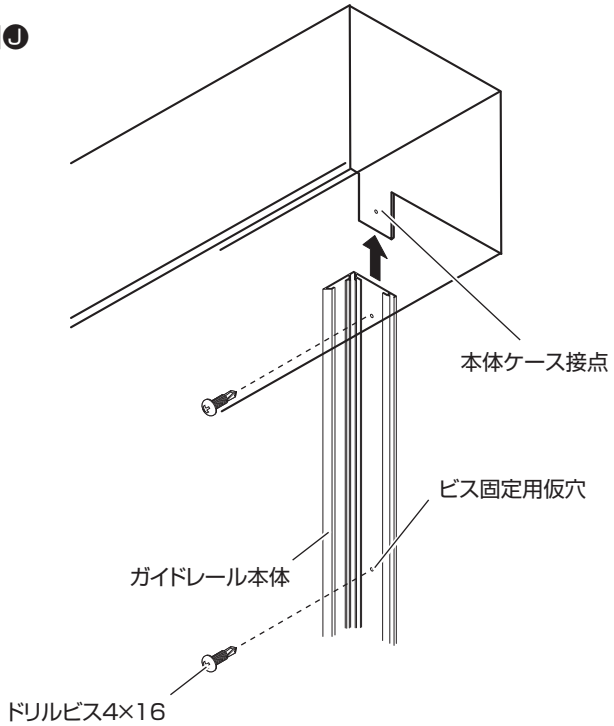
図❶



❷ ガイドレール本体を取り付ける

①ケース本体の両端にガイドレールを取り付けるように接点がでています。この接点にガードレール本体を挿入します。
②挿入した状態で下準備であけた仮穴を利用して、設置場所へ**ドリルビス4×16**で固定します。【図❷】

図❷



取付・施工

❸ 本体ケースに生地ロールを戻す

①矢印の溝に**生地ロール**両端の樹脂部材をスライドさせて入れます。【図Ⓚ】

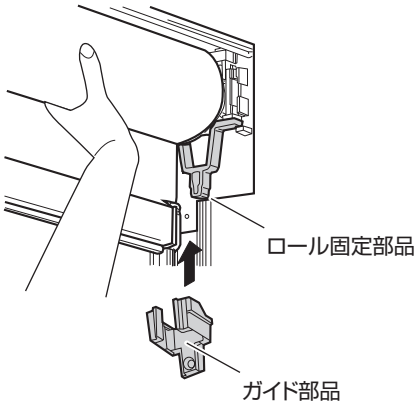
※この時、生地を20cmから30cm程度たるませておくと作業がしやすくなります。ただ、生地先端のおもりが重いので落下しないようご注意ください。

※モーター側は線を出す穴へ入れながらになります。

②正しい位置に**生地ロール**がきたら**固定部品**でロールが落下しないように固定します。さらに、**ガイド部品**も取り付けます。【図Ⓛ】

図Ⓚ

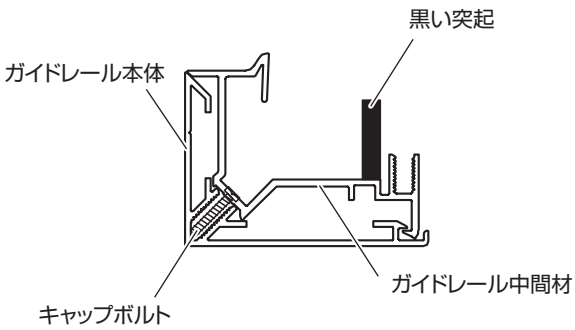
図Ⓛ



❹ ガイドレール中間材をガイドレール本体へ取り付ける

ガイドレール中間材を取り付けます。黒い突起が出ている方を地面側にして取り付けます。（キャップボルト6本）【図Ⓜ】

図Ⓜ



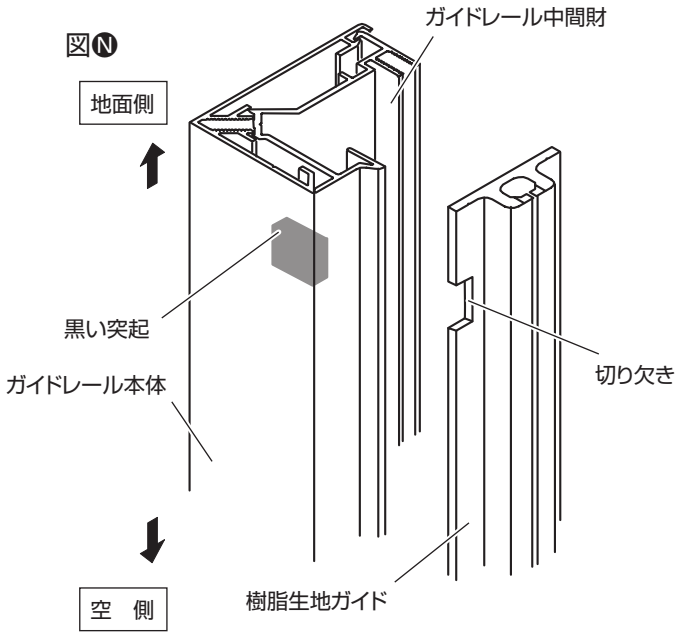
取付・施工

❺ ガイドレールに樹脂生地ガイドを取り付ける

ガイドレール中間材からでている突起に**樹脂生地ガイド**の切欠き部分を合わせます。【図Ⓝ】

※この時、20cm程度出しておいた**生地ロール**のジップ部分を**樹脂生地ガイド**の溝にスライドさせます。

図Ⓝ



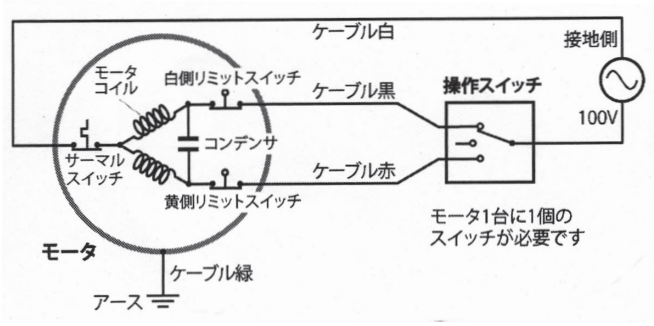
❻ モーターコードと100V電源を結線をする

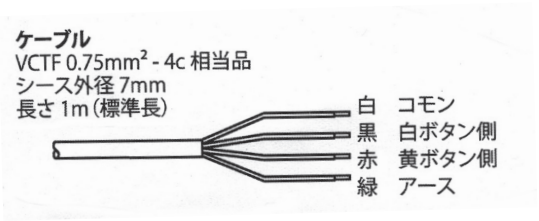
下図を参考に、モーターコードとスイッチ、動力と接続します。

※100V仕様ですので有資格者が施工してください。

スイッチを離れた場所に取り付ける場合はコードを延長することになります。また、スイッチ側にブレーカーを設けてください。

モータ内部回路と配線例





❼ 動作確認をする

生地が正常に上下運動するか確認します。

取付・施工

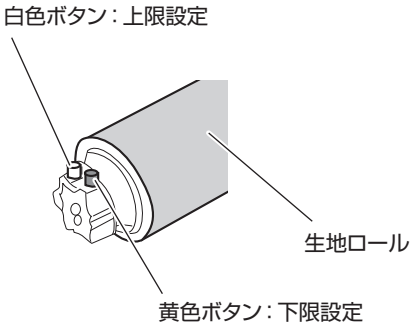
❽ モーターの上下ストッパーを設定する

①生地を最大に下げた位置で黄色ボタンを押します。
　これによってリミットが効きます。
②最大に上げる位置で白ボタンを押します。
　押すことで上限リミットがかかります。
③スイッチを操作して、正しく動作するか確認します。【図❽】

回転方向とリミット調整

配線	出力軸回転方向	リミット設定
白／黒間に給電	ヘッドから見て反時計方向 (CCW)	希望位置で白ボタン押し
白／赤間に給電	ヘッドから見て時計方向 (CW)	希望位置で黄ボタン押し

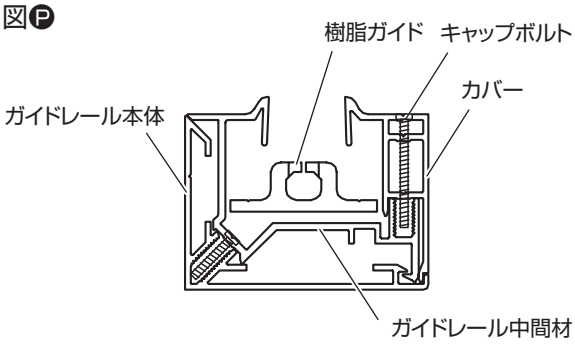
図❽



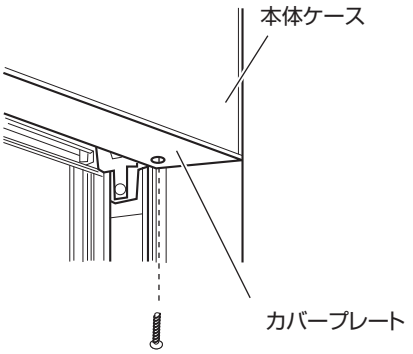
❾ ガイドレールカバー、カバープレートを取り付ける

①**カバー**を取り付け、**ガイドレール**を組み立てます。【図❾】
②**カバープレート**を**本体ケース**に取り付けます。【図❿】
③最後に動作確認を行い、スムーズに動作するか確認します。

図❾



図❿



取付・施工

モーター仕様

仕様		
操作		電力線切替
上下リミット設定	構造	機械式
	設定方法	押ボタン
	繰り返し精度	+/-5°
	調整範囲	46回転
保持ブレーキ		非通電時に作動
定格時間		5分、サーマルプロテクタ内蔵
取り付け		水平のみ
保護等級		IP44
使用温度範囲		-10...+40℃

AC100V 50-60Hz

モデル	最大許容トルク (Nm)	最大推奨トルク (Nm)	無負荷回転数		消費電力 (W)	機械的特性	
			50Hz	60Hz		L (mm)	質量 (kg)
540R3	40	28	12	14	220	613	2.55

お客様サービスセンター 通話料無料 0120-51-4128（こい よいにわ） 受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）
株式会社タカショー 本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1　TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）